

令和6年度「公共建築の日」記念

# 東京都建築技術発表会

特別記念講演

建築家 **平田 晃久** 氏

## 「人間の波打ちぎわ」

日時 **2024.11.20** (水) 15:00~16:30  
(特別記念講演)

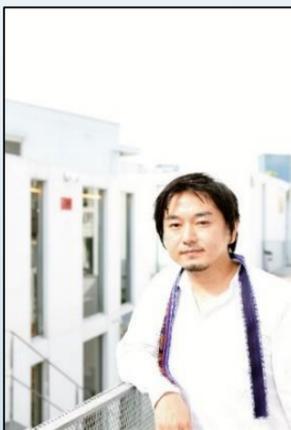
会場 **都民ホール** (東京都議会議事堂1階)

何かがからまる代(しろ)「からまりしろ」  
として建築をとらえた時、人々の行動や  
思考が建築に結びつく。そんな建築が  
また時代を超えてつながりはじめる。

代表作である太田市美術館・図書館、  
本年オープンしたハラカドを含め、  
小さなものから大きなものまで、建築と  
そのまわりにあるものをどのように浮かび  
上がらせてつくってきたかを紹介しします。



聴講申込・詳細はこちら



(c) Luca Gabino

平田晃久(ひらたあきひさ)

建築家・京都大学教授

1971年大阪府に生まれる。1997年京都大学大学院工学研究科修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務の後、2005年平田晃久建築設計事務所を設立。現在、京都大学教授。

主な作品に「榎屋本店」(2006)、「sarugaku」(2008)、「Bloomberg Pavilion」(2011)、「太田市美術館・図書館」「Tree-ness House」(2017)、「八代市民俗伝統芸能伝承館」(2021)、「ハラカド(ファサード、屋上デザイン)」、「小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」(2024)等。第19回JIA新人賞(2008)、第13回ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞(2012共働受賞)、村野藤吾賞(2018)、BCS賞(2018)、日本建築学会賞(2022)等多数受賞。著書に『人間の波打ちぎわ』(青幻舎)、『Discovering New』(TOTO出版)等。練馬区立美術館「平田晃久一人間の波打ちぎわ」展(2024年7月28~9月23日)を開催。

